

甲 第 号

吉本和樹 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

報告番号	甲 第 号	氏 名	吉本和樹
論文審査担当者	委員長	教 授	田中康仁
	委 員	教 授	斎藤能彦
	委 員	教 授	今村知明
	(指導教員)		

主論文

Influence of underlying diseases and age on the association between obesity and all-cause mortality in post-middle age.

肥満と全原因死亡率との関連に基礎疾患と年齢が及ぼす影響

Kazuki Yoshimoto, Tatsuya Noda, Tomoaki Imamura.
Health 2018 Sep 11;10(9):1171-1184.

論文審査の要旨

肥満と全原因死亡率の関連については、これまで一定の見解が得られていないが、申請者らは年齢および基礎疾患の有無に着目し、肥満が全原因死亡率に与える影響を明らかにした。

米国の大規模高齢者パネル調査である Health and Retirement Study を用い、45 歳以上の参加者 33708 人を対象に研究を行った。年齢、基礎疾患の有無、BMI で群分けし、Cox 比例ハザードモデルに各種変数を共変量として投入し、追跡期間中の死亡をエンドポイントとしてハザード比 (HR) を算出した。

65 歳以上の基礎疾患あり群では BMI(25<30)群の死亡の HR は低く、BMI(35 以上)群では高い傾向が見られた。一方で、65 歳以上の基礎疾患なし群では BMI(25<30)群、BMI(30<35)群および BMI(35 以上)群の死亡の HR は 1 に近い傾向がみられた。このことから、基礎疾患がない 65 歳以上の人は、肥満が死亡のリスクにならない可能性が示された。

本研究は基礎疾患の有無により中高年以降の肥満者への指導内容や教育内容変更の必要性を示唆するものであり、今後本領域のさらなる発展に寄与するものと評価され、博士(医学)の学位に値すると考える。

参 考 論 文

1. 7対1入院基本料を維持するための看護師配置人数の管理

吉本和樹, 野田龍也, 北恵里加, 柳瀬匡平, 今村知明

医療情報学 35 卷 3 号 Page125-132(2015.6)

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに公衆衛生学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

平成 30 年 11 月 13 日

学位審査委員長

運動器再建医学

教 授 田中康仁

学位審査委員

循環器病態制御医学

教 授 斎藤能彦

学位審査委員（指導教員）

公衆衛生学

教 授 今村知明